

BINARYSTAR、南米最大のブロックチェーンプロジェクトRSKとパートナーシップを締結 10月開催の Unblock: Tokyo にも登壇

日本最大のブロックチェーンビジネス・ハブを運営するBINARYSTAR株式会社（本社所在地：東京都中央区）は、この度、世界有数のスマートコントラクト・プラットフォームであるRSKおよび、その上部レイヤーとして多種多様なP2Pサービスを提供するRIF OSの両サービスを展開するIOVLabs（本社所在地：ブエノス・アイレス）と、日本国内での事業展開および日本企業へのインテグレーションを推進すべく、業務提携に向けた基本合意書パートナーシップ契約を10月5日に締結した事を発表いたします。

この新しいパートナーシップに一段と弾みをつけるため、RSKの東南アジア統括の Henry Sraigman 氏が来日。契約当日にBINARYSTARで開催されたイベント、Unblock Tokyo に登壇し、基調講演を実施した。当日、詰め掛けた250人以上のビジネスリーダー、起業家、エンジニアから大変好評をいただいた。

【RSKの概要】

RSKは、世界初のBitcoinネットワークを使ったオープンソース型のスマートコントラクト・プラットフォームとして、2016年1月に始まったプロジェクトです。2018年1月にメインネットがローンチして以来、その技術の高さおよび、Bitcoinネットワークのセキュリティを活用できるという利点が評価され、Ethereumと並んで世界中で注目されているスマートコントラクト・プラットフォームです。

【IOVLabsとRIF OSの概要】

RSKの創業者であるDiego Gutierrez-Zaldivarらが別に設立したRIF Labsは、スマートコントラクトを元にブロックチェーンP2Pサービスのインフラを開発しております。ネーミングサービス、決済チャネル、データストレージ、コミュニケーションツール、オラクルサービスなどの構築にフォーカスしております。そのRIF Labsが同じ創業メンバーで運営するRSKを買収したのちに、RIF LabsからIOVLabsと改名し現在に至ります。

【業務提携の背景】

通貨の安心が欠如し、ブロックチェーンやスマートコントラクトが現実的に活用されやすい南米では、世界のどこよりも実際にサービスへの導入が進んでおります。その中でも、一番多くの支持を受けており、北米・中東でも展開を進めるIOVLabsは、アジアでの展開も推進すべく今月RSK Adoption Hubをシンガポールにオープンしました。この新しいハブは、使いやすく、オープンで、セキュアなブロックチェーン・サービスを、アジア現地の企業やスタートアップと共に開発するためにオープンした施設で、IOVLabsのビジネス開発リーダーであるHenry Sraigmanが指揮を取る。

その IOV 東南アジア支部と共に、日本市場でも同じようにRSKおよびRIF OSのサービスを展開できるよう、今回 BINARYSTAR 株式会社と業務提携することを発表した。契約締結の日にBINARYSTARが主催した、Unblock Tokyoへの登壇は日本での展開に弾みをつける第一歩となった。BINARYSTAR 株式会社、CEOの池上雄飛は今回の業務提携についてこう語る：

「ビットコイン、掛ける、スマートコントラクトのアイディアが公開されてきてから注目を浴びてきたRSKプロジェクトを日本に紹介できる支援ができ大変嬉しく思います。BINARYSTARは、RSKのように世の中に大きなインパクトを与えるブロックチェーン技術を持つチームを、日本企業に紹介できるよう、今年3月に開業いたしました。この業務提携が、今後の日本におけるブロックチェーン技術の活用や普及を、共に加速させて行ければと期待しています。」

Ruben Altman、IOV Labs ビジネス開発長のコメント：

「日本のエコシステムにおけるリーダーであるBINARYSTARとパートナーを組めることを大変嬉しく思っております。IOV Labs では、オープンソースで誰でも使いやすいブロックチェーン・インフラを開発し、人々の生活に革命をもたらし、既存の、そして未来の産業を再定義していくと考えています。BINARYSTARの顧客中心、イノベーション中心のアプローチと共に、IOV Labsはアジア全域に向けてブロックチェーン技術をリアルなユーザーとビジネスへ届けていければと期待しています。」